

(敬称略) ※プログラム内容（発表テーマ、講師 等）が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

特別セミナー

**S1 若手技術者のための
モータものづくり入門セミナー**
～試作から量産までの基礎と実践～

2026年 7月15日(水)
【時間】 17：30～19：00

参加料：8,800円 / 1セッション/1名(税込)

1 モータコア試作の重要性
～現場から見た量産への最適解～
S：玄長 雄一郎 宮原製作所

2 高効率モーターの生産及び
高速巻線に対する当社の取り組み
S：馬場 祐子 NITTOKU

3 モータ性能を左右する着磁技術の基礎と応用
S：宮田 岳人 日本電磁測器

特別セミナー

**S2 若手技術者のための
モータ計測・材料評価入門セミナー**
～性能把握とフィードバック設計のための基礎～

2026年 7月16日(木)
【時間】 17：30～19：00

参加料：8,800円 / 1セッション/1名(税込)

1 モータ特性取得の基礎
S：佐藤 大介 長岡モーターディベロップメント

2 軟磁性・磁石材料の評価
～材料のミクロ構造からモータ特性まで～
S：千田 邦浩 JFEテクノリサーチ

特別セミナー

**S3 若手技術者のための
「とことんやさしい熱設計」**
理系じゃなくても大丈夫!熱対策の本質や手順のキホン学び、
実務に必要な「骨太の対策」の立て方を学ぶ。

2026年 7月16日(木)
【時間】 17：30～18：50

参加料：8,800円 / 1セッション/1名(税込)

1 熱にまつわる基本のキホン
～理系じゃない人も歓迎!の超基本講座～
S：鳳 康宏
ソニー・インタラクティブエンタテインメント

2 熱設計の基本のキホン：
知っておきたい熱設計の手順とポイント
S：国峯 尚樹 サーマルデザインラボ

特別セミナー 申込方法

パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) で検索

スマートフォン
タブレットから

【技術シンポジウム参加申込規定】

申込方法

パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) で検索

もしくは、<https://tfsym.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお問い合わせください。
E-mail：seminar@jma.or.jp

スマートフォン
タブレットから

参加料 (1セッション単価) (税込)	
日本能率協会法人会員	会 員 外
19,800円/1セッション/1名	24,200円/1セッション/1名

※ 複数セッションにお申込みの場合、交代参加が可能です。
※ 申込セッションのテキスト代が含まれています。当日会場受付で配布いたします。

技術シンポジウム テキスト合本料金 (税込) 各1冊単価	
※ テキスト合本 は各シンポジウムセッションのテキストを1冊にまとめた本です。	
【モータ技術シンポジウム(B1～B9)】	
シンポジウム参加者料金	シンポジウム参加者以外の料金
69,960円/1冊	99,660円/1冊

【熱設計・対策技術シンポジウム(F1～F6)】	
【パワエレ・電源システム技術シンポジウム(D1～D6)】	
シンポジウム参加者料金	シンポジウム参加者以外の料金
46,860円/1冊	66,660円/1冊

【EMC設計・対策技術シンポジウム(G1～G2)】	
シンポジウム参加者料金	シンポジウム参加者以外の料金
23,760円/1冊	33,660円/1冊

※ テキスト合本は、全セッションの会期終了後にお送りいたします。
※ テキスト合本の送付は、国内の住所の送付のみとなり、海外への送付は対応できません。

会場案内

東京ビッグサイト 会議棟
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
TEL：03-5530-1111 (代表)

キャンセル規定

・無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。
・参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。
・代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。
各シンポジウムの開催初日から8日前以前(開催初日を含みます)…無 料
各シンポジウムの開催初日から7日前～当日(開催初日を含みます)…参加料全額
(万一キャンセルの場合は必ずメールでご連絡ください。)

プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)

一般社団法人日本能率協会
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
E-mail：tf-s@jma.or.jp

同時開催展示会のご案内

下のQRコードより
来場者事前登録をして下さい。

2026年7月15日(水)
～17日(金)
9:30～17:00
東京ビッグサイト
西1～3ホール
詳細は公式WEBへ
テクノフロンティア

主 催 経営革新を推進する
一般社団法人日本能率協会

未来のモノづくりを支える要素技術の最新情報がここに集結します

テクノフロンティア 2026 技術シンポジウム

聴講有料 事前登録制

会 期 2026年 7月15日(水)～17日(金)

会 場 東京ビッグサイト 会議棟

最新の情報・お申し込みは

TECHNO-FRONTIERとは

- **技術シンポジウムと
専門展示会の融合的展開**
課題解決とビジネス創造につながる生の技術
情報と製品情報を得ることができます。
- **第一線のプロフェッショナルが集う**
多様な業種の開発・研究・設計のスペシャ
リストが新たな価値創造を目的に全国から
集います。
- **アジア随一の規模と歴史**
メカトロニクス・エレクトロニクス技術の
発展と普及を40年以上にわたり、支援して
きました。
前回は、シンポジウムに約3,200名、展示
会に約28,000名の方にご来場いただきま
した。

特別セミナー

**S1 若手技術者のための
モータものづくり入門セミナー**

2026年 7月15日(水)

特別セミナー

**S2 若手技術者のための
モータ計測・材料評価入門セミナー**

2026年 7月16日(木)

特別セミナー

**S3 若手技術者のための
「とことんやさしい熱設計」**

2026年 7月16日(木)

第47回

モータ技術シンポジウム

2026年 7月15日(水) ～ 17日(金)

第41回

パワエレ・電源システム技術シンポジウム

2026年 7月16日(木) ～ 17日(金)

第40回

EMC設計・対策技術シンポジウム

2026年 7月15日(水)

第34回

バッテリー技術シンポジウム

2026年 7月15日(水)

第26回

熱設計・対策技術シンポジウム

2026年 7月16日(木) ～ 17日(金)

テクノフロンティア 2026 技術シンポジウム

会場：東京ビッグサイト 会議棟 6F

最新の情報・お申し込みは
テクノフロンティア技術シンポジウム

検索

C：コーディネータ（敬称略）

※プログラム内容（スピーカ、発表テーマ 等）が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

第47回 モータ技術シンポジウム2026年 7月15日(水) ～ 17日(金)			
	9：15～11：30	12：00～14：15	14：45～17：00
7月15日(水)	B1AI・データ活用 C：関原 聡一 東芝 1 データサイエンスを活用した磁性材料研究 大久保 忠勝 物質・材料研究機構 2 数値最適化を用いたモータ設計の動向と AI活用による更なる高度化 日高 勇氣 立命館大学 3 サーボモータセンシングによる 装置データ活用が実現する工場の進化 和田 達明 安川電機	B2軟磁性材料のうまい使い方 C：水野 勉 信州大学 1 次世代モーターコア材料の使いこなし 相牟田 京平 プロテリアル 2 電磁鋼板の基礎と モータ高効率化に向けた開発事例 田中 一郎 日本製鉄 3 圧粉磁心材料「電磁郎」の 性能・特徴とその応用事例 高下 拓也 JFEスチール	B3電動化に向けた超電導技術 C：阿部 貴志 長崎大学 1 航空機電動化に向けた 常電導大出力モータの役割と技術的境界 軸丸 武弘 IHI 2 脱炭素を目指す航空機・ 空飛ぶクルマ用超電導推進システムの開発 岩熊 成卓 九州大学 3 車載用超電導モータ(補機、主機)の開発 中村 武恒 京都大学
7月16日(木)	B4レアアース資源の確保とリサイクル技術 C：赤津 観 横浜国立大学 1 次世代モータ開発を支える レアアース資源の新展開 中村 謙太郎 東京大学 2 モータのサーキュラーエコノミーに向けた 取り組み 高木 健太 AIST-Solutions 3 ポリ塩化ビニルの脱塩素反応に伴い発生する 塩酸を利用した湿式メカノケミカル法による ネオジム磁石からの希土類回収 笹井 亮 島根大学	B5脱・省レアアース磁石の研究開発動向 C：中村 健二 東北大学 1 Sm-Fe系磁石における最近の研究開発動向 杉本 諭 東北大学 2 供給リスクに備えた希土類磁石の開発 佐久間 紀次 トヨタ自動車 3 強磁性窒化鉄系材料の現状と今後の展望 小川 智之 東北大学	B6レアアースフリーモータ C：浅野 能成 ダイキン工業 1 自動車向けレアアースフリーモータの 動向と課題 高橋 暁史 Asterno 2 鉄道車両向け 同期リラクタンスモータシステム「SynTRACS®」 金子 健太 三菱電機 3 磁石フリーモータ開発による省資源・ 高性能トラクションモータシステムの実用化2 上田 智哉 ニデック
7月17日(金)	B7EV・モビリティ C：加藤 崇 日産自動車 1 スズキ初EVに向けた開発背景 柳澤 弘章 スズキ 2 自動車用e-Axleの小型化開発 諏訪園 健 明電舎 3 X-in-1で実現する eパワートレインの性能向上 大木 俊治 日産自動車	B8高出力密度化に向けた製造技術 C：小坂 卓 名古屋工業大学 1 鉄道車両用誘導電動機回転子構造の変遷 伊藤 裕貴 日立インダストリアルプロダクツ 2 「DWモータスリーブ」開発への取り組み 四ツ谷 隆太 東レ 3 分布巻コイルの高密度・小型化技術 向瀬 レミ 日立製作所	B9磁気を応用した機械機構の代替技術 C：榎本 裕治 日立製作所 1 磁気軸受および ベアリングレスモータの研究開発 杉元 紘也 東京電機大学 2 最新の磁気ギヤおよび 磁気ギヤードモータの研究事例 中村 健二 東北大学 3 超精密位置決めステージ向け 磁気浮上モータ技術 高橋 宗大 日立製作所

第40回 EMC設計・対策技術シンポジウム2026年 7月15日(水)	
7月15日(水)	G1自動運転／電磁セキュリティ／車載光通信が変える2030年のEMC課題とその対応 C：鶴生 高德 デンソー 1 自動車及び車載機器のGHz帯EMC性能確保に向けた取り組み 田中 広志 トヨタ自動車 2 EMI測定から電磁波セキュリティ対応への考察 吉本 修 ローデ・シュワルツ・ジャパン 3 車載光ファイバー通信技術の進展と評価の実際・課題 菅野 敦史 名古屋工業大学
	G2AI・モビリティを支えるパワエレEMC C：中津 欣也 日立製作所 1 ハイブリッド車の電動駆動系システムのノイズ解析 服部 佳晋 大同大学 2 電源システムの48V化に伴うEMC課題と対策事例の紹介 齊藤 政太郎 TDK 3 機械学習による最適WPT設計 関屋 大雄 千葉大学

C：コーディネータ（敬称略）

※プログラム内容（スピーカ、発表テーマ 等）が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

第26回 熱設計・対策技術シンポジウム2026年 7月16日(木) ～ 17日(金)			
	9：15～11：30	12：00～14：15	14：45～17：00
7月16日(木)	F1スマート熱設計手法：AI・最適化・サロゲート C：関 研一 千葉工業大学 1 U-netによる基板温度予測サロゲート モデル開発によるCFD計算高速化 入来院 美代子 パナソニック コネクト 2 閥値変動形状融合法を用いた 低熱抵抗ヒートシンク設計 浅井 勇吾 パナソニックインダストリー 3 冷凍サイクル1D-CAEモデルの AIサロゲート化 上村 匠 マツダ	F2熱を診る・確かめる C：熊野 豊 パナソニック インダストリー 1 シミュレーションと実機を同化させる 高速逆解析 乾 幸地 カルマリオン 2 複雑な熱干渉の環境で迅速に ジャンクション温度を予測する手法 袁 群 サードアウ 3 三次元デジタル画像相関法による 高精度な熱変形計測と可視化 菊池 郁織 エスベック	F3データセンター冷却フロンティア：液冷・液浸・沸騰 C：有賀 善紀 KOA 1 カーボンニュートラル時代に向けての 期待と取り組み 犀川 真一 篠原電機 2 AIサーバーの冷却へ向けた液冷、 液浸システムの適用と実証実験、今後の課題 赤崎 好伸 NECネットスエスアイ 3 3次元マイクロ流路による 半導体チップの水冷技術 野村 政宏 東京大学
7月17日(金)	F4モデルベース熱設計事例：1D-CAE・デジタルツイン・MBSE C：蜂谷 孝治 オムロン 1 MBSE/MBDを活用した インク乾燥ヒーターの設計効率化 依田 智裕 セイコーエプソン 2 モータ組み込み装置における 低次元化モデルの適用 村上 敦 安川電機 3 モデルベース熱設計とデジタルツイン：物理モデ リングの「ブラックボックス」とどう向き合うか？ 福江 高志 金沢工業大学	F5高発熱基板の冷却技術最前線 C：篠田 卓也 デンソー 1 BYD、テスラ他、サーバー電源の分解調査から 見る小型・高密度設計を実現する熱設計事例 信田 正人 リョーサン菱洋 2 プリント配線板における パターン溶断特性の見積もり手法 堀川 敦 日産自動車 3 高密度VCSELトランシーバを搭載した CPOドーターボード用水冷システム 那須 秀行 古河電気工業	F6冷却マテリアル：金属AM・放熱素材 C：国峯 尚樹 サーマル デザイン ラボ 1 Confluxの金属3Dプリント熱交換器による 困難な熱課題の解決 郡山 雅夫 Conflux Technology 2 AMの特性を120%活かした 高効率熱マネジメント部品の開発事例 吉崎 寛 SOLIZE PARTNERS 3 黒鉛系ヒートスプレッドと サーマルインターフェースマテリアル 小林 幹明 カネカ

第34回 バッテリー技術シンポジウム2026年 7月15日(水)	
7月15日(水)	E1AI時代を支える次世代蓄電池とその市場展望・安全・診断技術の最前線 C：石川 正司 関西大学 1 蓄電池産業政策について 奥尾 昂丈 経済産業省 2 AI データセンターに使用されるハイ ブリッドスーパーキャパシタのご紹介 安東 信雄 武蔵エナジーソリューションズ 3 リチウムイオン電池の 市場動向と今後の展開 雨堤 徹 Amaz技術コンサルティング 4 運用中リチウムイオン電池の 劣化・安全性診断 森田 朋和 東芝

第41回 パワエレ・電源システム技術シンポジウム2026年 7月16日(木) ～ 17日(金)			
	9：15～11：30	12：00～14：15	14：45～17：00
7月16日(木)	D1今、知っておくべきAIデータセンターの先進パワエレ電源と市場の最前線 C：細谷 達也 村田製作所 1 急成長するAIデータセンターと 半導体、電源産業への影響 南川 明 インフォーマインテリジェンス 2 AIデータセンター給電の新潮流： 「Grid to Core」で捉える次世代電力アーキテクチャ 後藤 貴志 インフィニオンテクノロジーズジャパン 3 GPU駆動1V/1000A 垂直給電方式電源モジュールの開発 細谷 達也 村田製作所	D2パワエレ用ノイズフィルタ設計を支援するCAE技術 C：山本 真義 名古屋大学 1 データセンター向け受動素子(磁性部品)の 最適部品選定方法 野本 敬一 TDK 2 フィルムコンデンサの基本特性と設計技術 吉川 寛之 パナソニックインダストリー 3 パワエレ用ノイズフィルタ設計を支援する CAE技術 野村 勝也 関西学院大学	D3見えない見える化するパワエレ・電源設計 C：廣川 芳通 コーセル 1 SiC/GaN時代の基板設計技術 宮脇 慧 長岡パワーエレクトロニクス 2 改良の先に未来はあるのか？ 西嶋 仁浩 崇城大学 3 シミュレーション主導による実用製品設計 加藤 康司 GSユアサ
7月17日(金)	D4EVモータ駆動・制御とAI活用パワエレ設計の最前線 C：河野 雅樹 ダイキン工業 1 世界一過酷なレースのパワエレ技術 立松 和高 トヨタ自動車 中岡 卓郎 デンソー 2 基礎から応用まで EVを中心としたモータ制御技術 吉本 貴太郎 東京電機大学 3 ワイヤレス給電機器におけるパラメータ最適化と トポロジー最適化のハイブリッド手法 佐藤 一樹 オムロン	D5新型xEVを支える高効率eAxleと次世代モビリティ電源技術の最前線 C：藤本 博志 東京大学 1 トヨタ新型bZ4X搭載の高効率eAxle開発 長尾 一平 BluE Nexus 村瀬 淳一 トヨタ自動車 2 3代目を迎えた新型リーフ 佐藤 義則 日産自動車 3 高効率だけでは飛べない： eVTOLの運転継続を支える電源分配システム 野口 健二 本田技術研究所	D6進化を続けるパワー半導体 C：中原 健 ローム 1 なぜ今GaNなのか 浦川 辰也 インフィニオンテクノロジーズジャパン 2 SiCスーパージャンクションMOSFETの進展 原田 信介 産業技術総合研究所 3 次世代 AI サーバー向け 電源アーキテクチャにおけるパワーデバイス 鶴山 元規 ローム